

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	システマティクレビュー	
タイトル情報	論文の英語タイトル	A systematic review of treatment modalities for primary basal cell carcinomas	
	論文の日本語タイトル	原発性基底細胞癌の治療手段に関するレビュー	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ14-7	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ I ）	
	Pubmed ID	10522664	
	医中誌 ID		
	雑誌名		
	雑誌 ID	Arch Dermatol	
	巻	135	
	号	10	
	ページ	1177-83	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	1999	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Thissen MR	Maastricht Medical Center
その他著者 1		Neumann MH	
その他著者 2		Schouten LJ	Comprehensive Cancer Center
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	基底細胞癌の治療法別再発率を検討する
	データソース	MEDLINE, EMBASE, CANCERLIT
	研究の選択	基底細胞癌に対して、通常の手術治療、Mohs 手術、凍結治療、C&E、放射線治療、免疫療法、PDT を施行した研究を選択した。
	データ抽出	298 文献のうち 18 文献を抽出した。除外した文献は、遡及的研究、5 年未満の経過観察期間、50 例未満の症例報告、レビュー、重複投稿、整容性の報告論文である。
	主な結果	再発率に関しては、Mohs 手術 1.1%、通常の手術 5.3%、凍結療法 4.3%、C&E 13.2%、放射線治療 7.4%、免疫療法 21.4%であった。
	結論	再発率の違いに関しては、解析方法が異なるために単純な比較はできない。 ① Mohs 法：サイズの大きい腫瘍、高リスク領域に発生したモルプエア型に適応がある。 ② 通常切除：結節型、表在型の小さい腫瘍 他の治療は原則として手術が適応にならない症例に用いるべきで、免疫療法や PDT は研究段階の治療として位置づけられている。
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	神谷秀喜
レビューワーコメント	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ I ） 治療法別に再発率を検討した比較的新しいレビューである。手術の有用性（Mohs 手術も含め）が強調される。